

平成30年度埼玉の子ども 70 万人体験活動

かなすぎ

松伏町立金杉小学校



米づくり体験



第5学年

特色

- 学校応援団の方々、地域の学習支援ボランティアや保護者の方々のご協力の下、「田植えー稲刈りー脱穀ー餅つきー調理実習」と一連の稲作体験活動を行っている。
- 収穫した稲（米）は、昔の農機具を使って脱穀したり、炊飯したりして、収穫を喜び、喫食をしている。また、発展学習として、「餅つき」を行い、伝統的な行事にふれる体験活動を行っている。

児童の感想

- 米づくり体験をして、農家の人たちの大変さを実感しました。天候に合わせて水を調整したり、草を刈ったりして見て、改めてお米を作ることの大変さを学びました。
- 今までふつうに食べていたお米だけれど、これからはお茶碗に一粒も残さないように食べようと思いました。

成果

- 稲作体験活動を通して、米作りの意義や過程、農家の大変さ等を学習することで、米作りの重要性を実感することができた。
- 友達や地域の方々・学校応援団の皆様と共に収穫の喜びを味わうことにより、日本の伝統文化を理解し、守ろうとする心情を養うことができた。